

令和7年4月1日付教育委員会事務局の組織改正等について

本市では、一人一人の子どもを徹底的に大切にす本市教育理念の下、誰一人取り残されず、全ての子どもたちに、伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する力を育むための学校教育の充実と、京都ならではの「地域力」、「文化力」、「人間力」を結集し、まち全体を学びの場とする生涯学習のまちづくりに向け、市民ぐるみで取り組んでいる。

本市ならではの学力向上対策や、伝統文化体験、障害のある子どもへの教育、いじめ対策や不登校児童生徒への支援、教育DXの推進による学習活動の充実と校務の効率化など、これまでの取組を着実に実施しつつ、**演劇的手法を活用したコミュニケーション力の育成や英語教育・STEAM教育の充実に向けた研究、府市連携による探究学習の一層の充実**など、子どもが興味や関心を高め、夢中になれる教育環境の充実を図ります。また、教職員が働きやすく、働きがいのある環境で子どもたちの教育に尽力できるよう**教職員のウェルビーイング向上に向けた検討**を進めるほか、新たな価値や気づきに出会える**新しい図書館構想に向けた検討**などによる市民の生涯学習環境の充実も含め、さらなる教育改革を推進するため、令和7年4月1日付で、次のとおり組織改正等を行う。

1 小学校・中学校教育の更なる充実に向けた「学校指導課」の体制整備

社会に開かれた教育課程の下での総合的な学習の時間を中心とした「探究的な学び」や、実践的なコミュニケーション力を付けることを重視した「英語教育の充実に向けた調査研究事業」の推進、国において議論が進められている次期学習指導要領を見据えた調査研究、更に、文化芸術やものづくりをはじめ京都ならではの多彩な体験を得る機会の充実など、小学校・中学校段階での教育の一層の充実に向け、**学校指導課に担当係長を配置**するなど体制の強化を図ります。

2 新しい図書館構想に向けた「生涯学習部施設運営担当」の体制整備

京都市図書館では、従来の役割を大切にしつつ、「読書のために来館するモデル」から「書籍を通じた多様な過ごし方ができるモデル」への多機能化を目指し、居心地の良い図書館づくり（サードプレイス化）を進めることで、地域の活性化、京都のまち全体の魅力向上を図っていきます。

7年度においては「市民意識調査」の実施や整備可能な図書館における試行的なサードプレイス整備を行い、市民ニーズの分析や求められる図書館機能の検証を進め、新しい図書館構想づくりを推進するため、**生涯学習部施設運営担当に担当係長を配置**するなど体制の強化を図ります。

3 STEAM教育の更なる充実等に向けた「青少年科学センター」の体制整備

自然科学のみならず、人文・社会科学も含めた分野横断的な学びを通して、実社会での問題発見、解決力を育む**STEAM教育の更なる充実に向けた調査研究を進めるとともに、必要な施設整備の在り方の検討**に向け、**青少年科学センターに担当課長を配置**します。

4 部活動地域展開に向けた「体育健康教育室」の体制整備

本市の部活動地域展開の方向性を明記した「京都市学校部活動及び地域クラブ活動推進方針」（令和7年5月策定予定）の具体化に向けた実施計画の企画立案や、令和10年度以降に展開する「京都版地域クラブ（仮称）」の設置に向けて、各種関係団体、地域クラブ、大学等との連携を一層推進するため、**体育健康教育室に「部活動地域展開推進チーム」を設置**します。